

フタスジカタビロハナカミキリ コウチュウ目カミキリムシ科

Brachyta bifasciata japonica (Matsushita)

石川県カテゴリー 準絶滅危惧

国カテゴリー なし

選定理由

本来、個体数が少ない種である。ヤマシャクヤクと密接な関係を持つ本種は、ヤマシャクヤクの減少とともに、生息地、個体数が激減している。

形態

体長は16~18mm。中型のハナカミキリで、体形は太く短い。頭部および前胸は黒色、上翅は白黄色地に3対の黒い斑紋を持つ。脚は黒と黄白色の2色に分かれる。触角は太く、第2~5節が白黄色で他は黒色。その長さはオスで上翅の3/4に達する。

国内分布

本州、四国。

県内分布

白山市（左礫、木滑、一里野、中宮温泉、新岩間）。

生態

成虫は5~6月上旬にブナ帯下部のヤマシャクヤクの花に飛来し、花粉を食す。幼虫はその塊根部分や地中の朽ち木を食するといわれているが、その生態は、不明な点が多い。

生息地の条件

自然林の残る山地において、ヤマシャクヤクが自生していることが重要である。

生存の危機

山野草としてヤマシャクヤクが採取されることが多くなり、そのことが本種の減少を招く一因となっている。他に、林道建設や土木工事も脅威となっている。(A)

特記事項

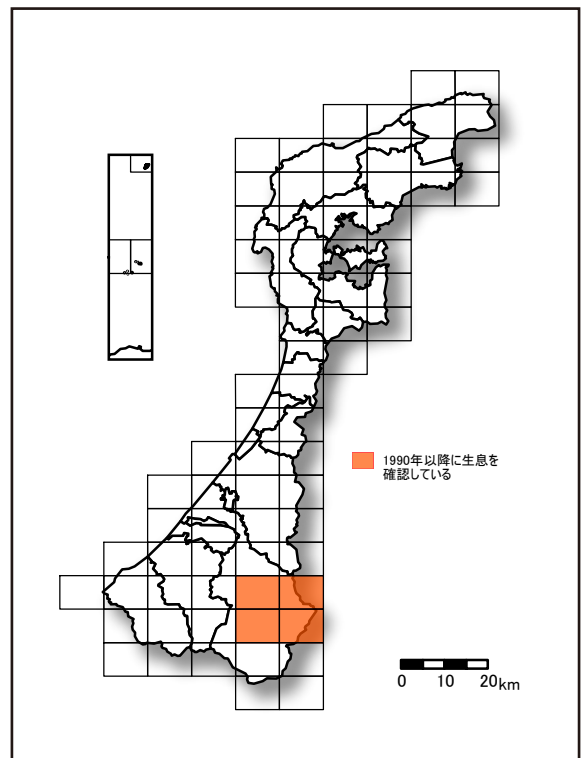
北海道には別亜種がいる。

参考文献

井村正行 1998. コウチュウ目カミキリムシ科. 石川県の昆虫: 197-217. 石川県自然保護課.



写真提供者:野中勝



県内の分布